

関係各位

2020年6月22日

株式会社パテント・リザルト

【化学業界】他社牽制力ランキング 2019

トップ3は富士フィルム、三菱ケミカル、花王

株式会社パテント・リザルトはこのほど、独自に分類した化学業界の企業を対象に、2019年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「化学業界 他社牽制力ランキング 2019」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2019年に最も引用された企業は**富士フィルム**、次いで**三菱ケミカル**、**花王**となりました。

【化学業界 他社牽制力ランキング 2019 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	富士フィルム	4,552
2位	三菱ケミカル	2,132
3位	花王	1,648
4位	積水化学工業	1,301
5位	日東電工	1,160
6位	日立化成	1,079
7位	旭化成	996
8位	住友化学	984
9位	DIC	761
10位	信越化学工業	747

1位 **富士フィルム**の最も引用された特許は「有機電界発光素子」に関する技術で、半導体エネルギー研究所の18件など合計19件の審査過程で引用されています。このほかには「無機結晶性配向膜及びその製造方法、半導体デバイス」に関する技術などが引用された件数の多い特許として挙げられます。

2019年に富士フィルムの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は、キヤノン(313件)、次いでコニカミノルタ(170件)、リコー(122件)となっています。

2位 **三菱ケミカル**の最も引用された特許は「白色発光装置及び照明器具」に関する技術で、GENERAL ELECTRICなどの計7件の審査過程において引用されています。このほかには「画像表示装置用透明両面粘着シートおよび画像表示装置」に関する特許や「蛍光体及びその製造方法と、その蛍光体を用いた蛍光体含有組成物及び発光装置、並びに、その発光装置を用いた画像表示装置及び照明装置」に関する特許などが引用された件数の多い特許として挙げられます。

2019年に三菱ケミカルの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は住友化学(53件)、次いで東レ(49件)、日立化成(35件)となっています。

3位 **花王**の最も引用された特許は「磁気記録媒体及びその製造方法」に関する技術で、富士フイルムの「磁気テープ」関連特許など、計16件の審査過程において引用されています。

2019年に花王の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はP&G(THE PROCTER & GAMBLE)の78件で、王子ホールディングス(57件)、LOREAL(47件)と続いています。

このほか、4位の**積水化学工業**は「基板穴埋め用熱伝導性ペースト組成物、及び、プリント配線基板」、5位の**日東电工**は「粘着型偏光板および画像表示装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2019年12月までに公開されたすべての特許のうち、2019年1月から12月末までの期間に拒絶理由(拒絶理由通知または拒絶査定)として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2020年5月29日の時点での権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

業種は総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

また弊社では、本ランキングの詳細データを下記の通り販売しています。

【化学業界 他社牽制力ランキング 2019 ご提供データ】

▶納品物：以下のデータを収納したCD-ROM

1) ランキングトップ50社

化学業界の被引用件数上位50社のランキング

2) 被引用件数上位100件のリスト

化学業界の被引用件数上位100件及び引用先の特許との対応を掲載

▶価格：50,000円(税抜)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580

Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL <https://www.patentresult.co.jp/>